



読字 故 原 田 親

No. 806

2016/ 9/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0005 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会
岡山支部
〒710-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8511
倉敷市連島中央1-8-4 (宮地方)
TEL:FAK086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



ある中国残留婦人の生涯 — 鳴井千代子さんのこと — 最終回

山縣武次郎

国家賠償を求め集団訴訟

人間の尊厳を守るために 2

湯口さんの場合、日中国交正常化後、耳の裏にホクロがあるといい、姉の遺言で、78年、兄が撫順に探しに来、感激の再会を果たした。その2年後には、一時帰国もした。

しかし、永住帰国したのは、16年後の96年だった。この空白は何か。

それは、兄が身元保証人になることを拒否したからである。



1年遅れで帰国した夫、王玉祥さんと 1987年

親子6人が帰国、全く日本語が話せない、この家族の生活を考えて時、兄は、二の足を踏んだのである。その後法改正があり帰国が可能となった。湯口さん、54才だった。

兄弟の縁も切れてしまった。国の不十分な支援策が原因であろう。

訴えを認めた神戸地裁判決は、北朝鮮拉致被害者と比べ、貧弱な支援策になっているとして、一人600万円の慰謝料が相当とした。

第一次安倍内閣が控

訴しようとしたが、全国的な抗議の声が上がリ、和解の方向で政治決着の運びとなり、その後福田総理大臣が、07年12月5日、原告団と面会し、皆さんは想像のつかないような苦勞をされてきた。今度の法律で少しでも幸せになっていただきたい。」と謝罪し、新しい自立支援法の改正が公布され、08年



東北農工速修学校跡にてクラスメートと

4月より施行された。

その新たな支援策は、①国民年金の満額支給、②支援給付、③支援・相談員、④地域における生活支援事業、⑤二世、三世に対する就労支援、である。

人間的な屈辱に耐えていた

鳴井さんの夫(王玉祥さん)は、施行4カ月前に肝臓がんで亡くなった。アルコールが友となっていたからだろうと彼女は涙した。この支援策は、残留孤児の老後の生活保障と尊厳を確保する点で多少評価出来るが、問題がないわけではない。進生活保護扱いされている点である。交通事故の慰謝料をもらった受給者が過払い請求をされ、返還した事例がある。裁判に訴えてたたったこ

とは、大きな意義があったと言えよう。全国各地で日本語教室が開設され、また支援事業として交流や研修が催されるようになった。

結びにかえて

敗戦時、鳴井千代子さんは、14才だった。中学2年生、一番感じやすい年頃である。個人の人格が形成される時期でもある。間違った侵略戦争によつて、家族は破壊され、彼女も塗炭の苦しみの中で、生き抜いてきた。

私たち、児島9条の会をり「に、自由と平和のための京大有志の会」の声明を載せている。

その中に、戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもに災いをもたらす。「戦争は、人々の四肢だけでなく心の中心にも深い傷を負わせる」とある。

彼女の生涯から見えてくるのは、戦争がいかに人間の尊厳をズタズタにし、無にもするものであるということである。

生前、彼女は、改正支援法ができてからは、毎年、中国に里帰りをしていた。彼女は、48年間激動する中国で生き

抜いた。それを陰で支えたのは、夫の王玉祥であった。これこそが、日本と中国との血のかよった草の根の友好と交流であったと思う。

今、この国では、逆の風が吹いているようだ。憲法9条は、アジアの2千万人、我が国の310万人の貴い命の上に生まれた。決して米占領軍が押しつけただけのものではない。

中谷防衛大臣は、人口一億人以上の国では軍隊を持っているのが常識だと答弁していた。この常識が国民に何を

もたらしてきたか。過去の歴史を見れば、よくわかる。日中不再戦であり、70年守ってきた憲法9条が世界の常識になるよう分断を乗り越え、手をつなぎ一つの絆に。世界の平和のために。

おわり

追記

2月23日 中国残留孤児問題を考える」ときの講演で、「ことば足らずな話になったりして、意を尽くせない点もあるので補筆し書きました。ご容赦下さい。(山縣)

すばらしいオリンピック

竹内 和夫

近代オリンピックは、フランスの教育学者クーベルタン男爵のポーツによる青少年教育の振興と世界平和実現のために古代オリンピックを復興しよう」という呼びかけに応じ、1894年パリ大学の国際スポーツ会議で決定された。

- ④ オリリンピック憲章は、国際オリリンピック委員会(略称フランス語OCI、英語IOC)で決定された。その第一章「根本原理」ではオリリンピック運動の目的は、次の4点にまとめられた。
- ① 身体的・道徳的資質の発達。
- ② 友好の精神を教育し平和な世界を建設する。
- ③ この原則を普及して国際親善をよびおこす。
- ④ 世界のアスリートを4年に一度のスポーツ祭典に結集させる。

(2面につづく)

呉先斌館長の来岡

曾田 和子

8月10日、南京民間抗日戦争博物館（南京市安德門大街48号）の呉館長が名古屋に向かう途中、岡山に寄ってくださった。岡山駅構内のレストランで昼食をごちそうになりながらの約2時間の交流だった。こちらの参加は日中友好協会岡山支部理事長の竹内和夫さん、岡山15年戦争資料センター事務局長の上羽修さん、そして私たち夫婦の4人であった。広島大学で博士号をとって文化人類学の研究をしている四川出身の楊さんという若者がつききりで呉さんの通訳を務めていた。広

島に10年滞在しているのと、今回の来日は8月3日京都、5日金沢、8日長崎、そして10日岡山経由で名古屋入り、14日東京、15日帰国、というもので、9日の長崎原爆祈念式にも参加された。

愛知・平和のための戦争実行委員会」は毎年戦争展を開催しており、今年は日軍が破壊した南京の文化財などの展示であるらしい。館長は11日から始まる名古屋の展示会に参加したいとのことであった。

私の9年に及ぶ南京での日

本語教師生活で、井伏の黒い雨」を取り上げるには数年かかったという話は、これまでも書いたこと、話したりしてきた。今から10年ほど前に会った、江東門の南京大虐殺記念館前館長の朱成山氏は広島島の原爆資料館を酷評した。あの原爆が加害の上で

被った被害ということが表れていない展示だから、と。広島、長崎の原爆投下を当然視する中国人が多い中で、朱前館長の資料館の展示の在り方に対する批評も私たちはきちんとして受け止めるべきだと思っただけで、核兵器使用を肯定しているのではないというメッセージは当時、私は感じ取れなかった。

しかし、今回の呉館長の精力的な日本での活躍ぶりや、とりわけ長崎に訪れ、来年は広島でも、南京事件の展示が予定されていると聞いて、目の前が明るくなったように感じた。中国人のおふたりにも被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」にさっそく署名いただいた。



易姓革命と文化大革命（中）

文責：弓田 盛樹

易姓革命と

文化大革命のちがい

易姓革命が「徳のある者が王となるべき」という徳治主義であつても、人民に参政権はなく、一庶民が王になるのはあり得ないことです。やはり「血筋」が重視されていたのです。また、易姓革命の場合、既に目指すべき国の型は決ま

つており、それ以外の考えを持ちこむことは世の中の安定・秩序を崩すことと考えられます。実際、後漢の衰退を招き、三国時代に移る契機となったのは、政治腐敗に対する農民の反乱（黄巾の乱）でした。一方、文化大革命の目的は封建社会を打開して、庶民が中心の国（社会主義）をつくることにありました。この点が

易姓革命とは大きく異なります。

転換においても激震を与えることになったと思います。

毛沢東が生きた時代、中国の社会構造を規定し、中国で生きる人びとの意識を規定していたのは儒教です。近代化を実現し、民主的な社会をつくるためには儒教を解体しなければいけません。千年もの時間をかけて人々の生活の深いところまで根を下ろしているため、マルクス思想を持ち込めば問題が解決するわけはありません。そのため、文化大革命は思想の

日本では昔、当家の家風」と言われたりしました。中国にも同じような文化があります。家風は個性の主張でもありません。しかし、近代化によって儒教が解体され、生活様式の均一化が進んでいきました。一見個性が認められ、人々は自由になったかのように見えますが、周囲を見渡せば同じような家に住み、似たような服装をし、どこでも同じ食品が並んでいる。暮らし向きは豊かになったが、一方

（一面からのつづき）すばらしいオリンピック

国際オリンピック委員会の委員は、自主性をもち、その所属国や地域の政府や民間組織から、いかなる指示も受けない。委員会は国際法に基づき永続的な非営利団体で、国連によって非政府機関として承認されている。本委員会は憲章で、オリンピックの競技は国と国との対抗競技ではなく、成績順位による得点制は認めないと規定している。メダル獲得数の参加国別順位も、当委員会としては作成発表しない。

オリンピック憲章はいかなる国または個人に対しても人種、宗教、政治的な理由で差別することは許されないと規定している。こうして近代文明＝資本主義社会に対する疑問があるのだと思います。一部の中国人は政治腐敗に対して、儒教に解決の糸口を見ているのかもしれませんが、実態はかなり原理主義的です。その点を中国政府は国民統制に巧みに利用していることは注意しなければいけません。

古代オリンピックはギリシャの主神ゼウスに捧げる祭典競技であった。奴隷と女性は参加を禁じられ、入場することも許されなかった。1928年のアムステルダム（オランダ）大会から、はじめて女子の陸上競技が登場した。1932年のロサンゼルス大会で史上初めて10万人収容の大競技場が建設された。アメリカの黒人選手が活躍するのも今大会からである。

1940年の第12回大会を東京で開くことを決定していたが、日本政府は1938年、東京大会組織委員会に対し大会の中止返上を命じた。

（平凡社・大百科事典「オリンピックの項から」）

次回の新聞送作業は9月12日（月）午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

岡井林田 和 内井
今河小真 曾 竹内内井 坪